

**【NEWS RELEASE】**

2022年7月14日

各位

株式会社三井住友銀行

グリーンクロスカレンシーレポでの資金調達実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、「SMBC グリーンレポフレームワーク」を策定の上、グリーンクロスカレンシーレポの枠組を構築し、資金調達を実施いたしました。本件取組にあたり、大手 ESG リサーチ・格付・データプロバイダーである Morningstar Sustainalytics 社より、本枠組に基づく対象資産に係る評価を取得しております。

グリーンクロスカレンシーレポは、当行がレポ取引（※1）にて調達する米ドルを ESG/SDGs のうち環境(Environment)分野、特に再生可能エネルギー分野向けファイナンスに充当する取引です。国際資本市場協会（ICMA）が 2021 年 4 月に市中協議文書を発表するなど、グリーンクロスカレンシーレポは新しいサステナブルファイナンスの手法として更に拡大することが期待されています。

三井住友銀行を含む SMBC グループは、2020 年 4 月に公表したサステナビリティに関する長期計画「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」において、「2020 年度から 2029 年度のグリーンファイナンス実行額 10 兆円」という目標を設定しておりましたが、2021 年 5 月には、「2020 年度から 2029 年度のグリーンファイナンスおよびサステナビリティに資するファイナンス（※2）実行額 30 兆円（うちグリーンファイナンス 20 兆円）」と、目標を再定義の上、上方修正いたしました。SMBC グループは、お客さまの環境問題解決に限らず、社会課題解決、SDGs 経営への対応に向けたサポートに注力しております。

当行は、お客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、脱炭素社会の移行と実現のため、積極的にサステナビリティ実現に貢献してまいります。

## &lt;ご参考/ストラクチャー概要&gt;



（※1）外貨調達手法の一つであり、取引相手に日本国債等を担保として差入れ、米ドルを調達する取引。

（※2）「サステナビリティに資するファイナンス」には企業のトランジションを資金用途とするファイナンスや社会事業を資金用途とするファイナンスを含みます。

以上